

統計アラカルト

熊本の統計情報

令和7年9月26日

県民の皆様に統計を身近に感じていただくためのページです。

随時、色々な統計に関する話題・データを紹介します。

国勢調査 はじまります！

令和7年10月1日、国勢調査が実施されます。

赤ちゃんや外国人の方も含めた「日本に住む全ての人」が対象となる、国の最も重要な統計調査です。今回の国勢調査は、大正9年に行われた第1回調査から105年。第22回目に当たります。とは言え、規模の大きい調査ですから、毎年できるものでもなく……調査は5年に1度。なので、「国勢調査とはなんぞや？」という、あまりよくわかっていない人もいるのでは？



何のためにするの？

人口・世帯、産業構造など、日本の"今現在の実態"を明らかにすることを目的として行われます。



何に役立つの？

国勢調査から得られるデータは、国や地方公共団体が行政施策を立案するための基礎資料や、研究・教育活動、経済活動など幅広い分野で活用されます。たとえば災害時の避難所づくりの計画を立てたり、コンビニをどこに出店するか考えるときなど、みなさんの暮らしの身近なところでいろいろと役立てられることになります。



回答しないとダメ？

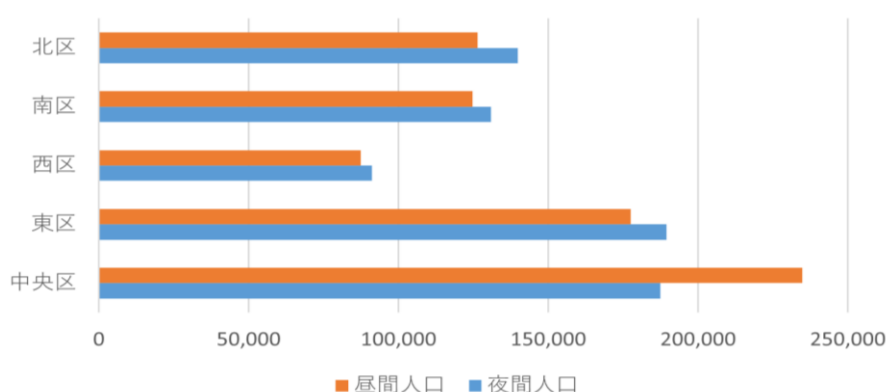
正確な統計資料を作るためには、日本に住む全ての人・世帯からの「漏れのない正確な回答」がどうしても必要です。なので、国勢調査では、すべての皆さんに必ず回答していただくことになっていて、このことは統計法という法律にも定められています。

国勢調査でわかること

国勢調査でわかるデータのひとつに、夜間・昼間人口というものがあります。

夜間人口とは、ある地域に「夜に常住している人口」のことです。それに対して昼間人口とは、この夜間人口に「その地域外から通勤・通学で集まってくる人口」を足し、「その地域から通勤・通学で他の地域へ出る人口」を引いたものです。

熊本市の昼夜間人口（2020年）



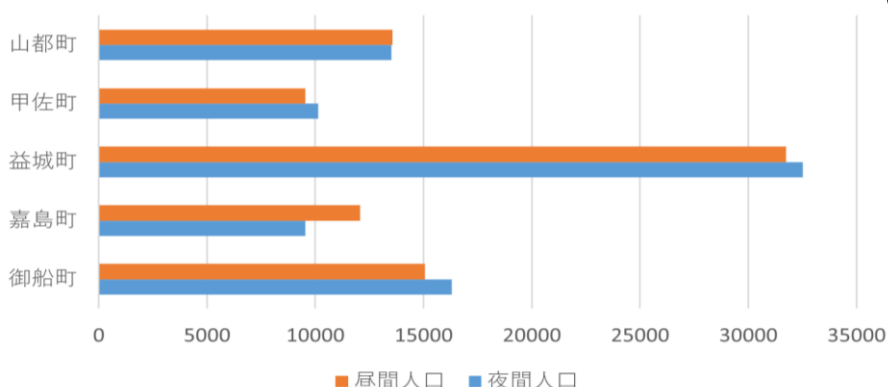
熊本市の各区の昼夜間人口を見ると、中央区以外は夜間人口が多いのに対し、中央区は昼間人口が夜間よりかなり多くなっていることがわかります。周囲の市町村や熊本市の他の区から、熊本市中央区に通勤・通学している人が多いのでは？と考えることができそうです。



次に上益城郡の5自治体を見てみましょう。嘉島町だけが昼間人口が大きく伸びています。嘉島町には大型商業施設などがありますから、そういった施設に通勤している人が多いことが推測されます。



上益城郡の昼夜間人口（2020年）



こういったデータが、例えば渋滞解消のための政策立案……道路をどこに作る・広げるか、などを考えるのに役立てられます。他にも、企業がどこに新店舗を出店するかを考える資料としたり、様々なことに活用されるのです。

便利なインターネット回答を！

国勢調査はインターネット回答できます！ 調査員から配布される「インターネット回答利用ガイド」からQRコードを使って簡単にログインでき、回答期間内なら24時間いつでも都合の良い時間に回答することができます。



国勢調査の「国勢」って何？

国勢…国の勢い？ とはということ？ と思ったことのある人、実は多いのではないかと思います。この国勢調査という名前についてですが、明治29年（1896年）の「国勢調査ニ関スル建議」には「全国ノ情勢」という記載があります。国の勢いではなく国の情勢を調査するから「国勢調査」となったわけですね。

ちなみに「国勢調査」という用語が初めて考案されたのはいつ、誰なのか…これは、実ははっきりとしたことはわかっていません。明治26年の「統計学雑誌」で初めて国勢調査という用語が出てきたとされていますが、これよりも前に国勢調査という用語が考案されていた可能性もあるのではないかと考えられています。

「国勢橋」



小国町に「国勢橋」という橋があります。たまたまこういう地名だった…わけではなく、大正9年（1920年）の第1回国勢調査を記念してこの名称がつけられました。当時は木造でしたが、昭和7年に石造となり現在に至ります。この橋を起点とする国勢橋通りや、この地の造り酒屋が製造した清酒「国勢」など、国勢調査を由来とする名前が残っています。

問合せ先: 熊本県企画振興部 交通政策・統計局 統計調査課 総務資料班 〒862-8570 熊本市中央区水前寺6-18-1

電話: 096-333-2174 / Fax: 096-384-7544 / メール: toukeichousa@pref.kumamoto.lg.jp